

## 平成 24 年 11 月現在の筋骨格系 TAG の進捗状況

日本整形外科学会 望月 一男

筋骨格系 TAG においては Chair であるスウェーデンの Dr. Sundberg を中心とした ICD-11 への改訂案が WHO に報告され ICD-11 β 版に取り入れられる手筈になっていたが、分野ごとに設定されたワーキンググループの活動性に差があることが危惧されていた。

本年 5 月の ICD-11 β 版の一般公表後、日本整形外科学会 ICD-11 検討委員会では、委員が分担して各専門分野の内容確認作業を行った。

この結果、β 版において骨軟部腫瘍分野では、腫瘍の章と筋骨格系の章に散在しているだけでなく、包括的な分類となっておらず、ICD-10 から大きな改善がみられていないことが判明した。そこで、以前に筋骨格系 TAG に試案として提出した案を基盤に、表示形式を β 版にあわせた分類案を急遽作成し Dr. Sundberg に提出したところ、そのままの形で WHO に提出された。

他の分野は、Dr. Sundberg に提出するための検討結果を、日本整形外科学会として集約している最中である。

また、本年 9 月に内科 TAG 対面会議に出席のため来日した WHO ウスタン先生に、筋骨格系 TAG Co-chair 清水克時先生と加藤真介先生（国際 WG 協力員、日整会委員長）が面談して、日本整形外科学会の活動状況を報告した。